



YMCA

NEWS



神戸青年

No. 606

2011.1・2

Jan・Feb

発行所 日本YMCA同盟 東京都新宿区本塩町7
THE YMCA神戸版 発行人/水野 雄二 編集人/坂本 庸秀
神戸YMCA 〒650-0001 神戸市中央区加納町2-7-15
TEL . 078-241-7201 FAX . 078-241-7479
URL http://www.kobeymca.or.jp 印刷/わかばやし印刷



迎春



神戸YMCA
年間聖句

主を待ち望め。雄々しくあれ、
心を強くせよ。 詩編27編14節

新春YYフォーラム=神戸YMCA 創立125周年記念行事のキックオフ!

神戸YMCAの125年の歴史と未来を、
みなさんのイメージでアートとして表現します。
初上映の記念DVDもご期待ください。

2011年1月8日(土) 13:00 ~ 18:00
神戸YMCA三宮本館(参加費無料)

グループセッション(神戸YMCAをアートで表現!)
ワイズメンズクラブ、ユースボランティア、クラブ活動紹介
125周年記念DVD上映、キャンプソング、他

【お申込・お問い合わせ】

神戸YMCAウエルネス三宮
TEL : (078)241-7202 FAX : (078)231-1031
E-mail : info@kobeymca.or.jp

神戸YMCAが提起されています。子どもと若者が集い、その「いのち」を光り輝かせています。YMCAの活動に更なる多くの青少年が参加し、その「いのち」の輝きを増し加えてほしいと願っています。そして、多くの市民、ボランティアがその活動を支えていただければ幸いです。

この数年、神戸YMCAの働きも兵庫県や神戸市、西宮市など公共施設の運営に広がり、益々、地域に密着した働きが認められています。多くのボランティアの方々に支えられ、共に集うYMCAとして、この新しい年も着実な歩みを進めます。本年も皆様のご参加とご支援、またご指導を賜りますようお願い申し上げます。

いよいよ神戸YMCA 創立125周年!

神戸YMCAは2011年5月8日、創立125周年を迎えます。そして、1月8日の新春YYフォーラムをキックオフイベントとし、神戸YMCA創立125周年記念事業を進めようとしています。この事業を支えるための協賛を賜りますと共に、積極的に事業への参加をお願いいたします。くわしくは、神戸YMCAホームページ (<http://www.kobeymca.or.jp/>) から、創立125周年ロゴマークをクリック!

特別イベント		
新春YYフォーラム	2011年1月8日(土)	神戸YMCA三宮会館
国際姉妹会議	2011年5月7日(土)	神戸YMCA三宮会館
創立記念日礼拝と式典	2011年5月8日(日)	神戸YMCA三宮会館
記念ハンドベルコンサート	2011年5月14日(土)	日本キリスト教団神戸栄光教会
記念講演とシンポジウム	2011年9月10日(土)	日本キリスト教団神戸教会
記念音楽イベント	2012年1月7日(土)	神戸YMCA三宮会館(予定)
記念グッズ		
記念ポロシャツ:S・M・L・LL 各2,000円(税込)	ウエルネスセンター三宮・学園都市、西神戸ランチ、西宮ランチにて販売中	
記念バッジ:200円(税込)		
記念パンフレット:2011年1月から希望者に無料配布。		
記念Tシャツ:2011年から販売予定。		



「女性」が創りだす安全な世界をテーマとする世界YMCA/YWCA合同祈禱週の5日目の焦点は、「女性暴力や差別をなくす」に、YM/YWCAのよう、

出会うと知、心・命をつないでいくコミュニケーションが必要だ。神戸YMCAをはじめ、日本YMCAの支援を受けて育てられたボーポキ・ピース・プロジェクトもコミュニケーションを指している。ねこのボーポキとさまざまな出会いを通して知・心・命を発見し共有する。想像できない平和は、くることができないと考えるため、豊かな感性や想像力、表現力を延ばそうと、感じ、行動に移す。また、共感も好奇心も知識も必要だ。平和って、なに色? と感性を引き出すボーポキは、同時に戦争等の色や味も問う。身体の色や味も問う。好奇心が生まれ、知識や想像へとつながるのだ。ボーポキが目指す平和には、軍事的な暴力も人権侵害も存在しないのが大事だ。そこで先日、戦時中に16ヶ所が日本の基地があった宮古島へ、かつて日本軍の基地があった場所へ隣接している「アリアンの碑」を見に出かけた。平和への希望が12ヶ国語で刻まれている慰霊碑は、当時、「慰安婦」たちが井戸に行く途中で休んでいた場所に建てられている。それと対照的に日本軍基地の跡に現在、自衛隊基地がある。また、空襲や餓死等のために多くの犠牲者を出した「南静園」というハンセン病患者の収容所で退所者の話を聞いた。無知や恐怖によってもたらされた凄まじい現実。65年経った今も、「慰安婦」や「患者」に対するむき出しの暴力は、偏見や差別という形でなお続いている。宮古島で暴力や差別をなくそうとしている当事者や支援者と一緒の夕日を眺め、おいしい物を食べ、新たな知・心・命を共有した。ボーポキの平和のパレットに「宮古島」といふ新たな色が加わった。喜びも悲しみも仲間へ伝え、YMCAへもつなぐ。みんな宮古島色を使って新たな平和を描こう。



「女性」が創りだす安全な世界をテーマとする世界YMCA/YWCA合同祈禱週の5日目の焦点は、「女性暴力や差別をなくす」に、YM/YWCAのよう、



125周年について思うこと

神戸YMCA創立125周年にあたり

長井 慎吾

(神戸キリスト教青年会常議員・神戸YMCA創立125周年事業実行委員長)

いよいよ神戸YMCA創立125周年を迎えました。125年を一つの節目ととらえ、活動の原点を振り返り、未来を共に考える年にしたいと考え準備を進めてきました。125周年の年頭にあたり、この場をお借りして、2つのお願いをさせて頂きます。

1つ目は、今年度計画している記念式典、シンポジウム、音楽イベントの準備や運営に積極的にご参加をお願いします。これら記念事業は、YMCAに関わる会員、レイパーソン、ユースリーダー、スタッフが協働し結束を固めるために備えられたものであると考えます。神戸YMCAの原動力は、そこに関わる人々の「YMCAが好き、YMCAの仲間が好き」という心の結集ではないかと思えます。急速に変化する社会情勢や価値観の変化に翻弄されず、未来に向けて、若者と子どもたちのため、時代にあったYMCA運動を発展し継続するには、ひとりひとりの「YMCAが好き、YMCAの仲間が好き」を強くすることが大切であると思います。125周年記念シャツに身を包み、歴史を振り返り、YMCAを主題とした音楽を創り上げながら、このころを一つにしようとするものです。

2つ目は、125周年中に、みなさんの活動しているグループで神戸YMCAの歴史を振り返る機会を設けてください。125年を振り返る機会はこのような節目でなければなかなか出来ないことであると思います。125年の間、神戸YMCAはさまざまな苦難を乗り越えてきました。特に1945年の太平洋戦争による活動の抑圧と6月5日の神戸大空襲で大切な会館を焼失したことは大きな打撃でありました。しかし、YMCAを心底愛した会員主事達によって不死鳥のように蘇ります。神戸教会の地下一階を仮事務所としてお借りし、打撃から4カ月足らずの10月28日には戦後初の理事会を開催しています。その後1年足らずの内に教育事業や文化事業を立ち上げてゆきました。復興に立ち上がった会員主事達は資金づくりのため涙ぐましい「努力と結束」したとあります。未来を考えるには、歴史を知り、時代と共に変化させるもの、時代の影響を受けず礎となるものを再確認する必要があります。記念事業実行委員会では、YMCAの歴史と活動を分かりやすく説明するDVDの制作や、100年史に綴れなかつた注目すべき活動を掘り起し、今日までの足跡の証言集の整備を実施しています。これら資料を活用し、リーダー会、ワイズメンズクラブ、保護者会、運動クラブなど活動単位、あるいは個人で歴史を振り返って頂きたいと思えます。

神戸YMCAネクストビジョン、答申

神戸キリスト教青年会(神戸YMCA)常議員会(第3回。10/29)において、「神戸YMCAネクストビジョン」が答申されました。昨年6月に常議員会の下に設置されたネクストビジョン委員会(鈴木博和委員長:財団理事・常議員)が会合を重ね、神戸YMCAの中長期の方向性をまとめたもので、「GOAL2011」の後を受けたグランドデザインとなります。「私たちの使命」は「すべての『いのち』が光り輝くように」とあらゆる生命の輝きを求めます。事業はウエルネス・学校教育・国際活動に加え、子育て支援と高齢者支援にフォーカスが当たります。財団法人、学校法人、社会福祉法人には神戸YMCA総体として次代の課題に即応するためのより強い連携が求められています。三宮会館の抜本的なリニューアルも検討が必要とされています。今後、単年度計画への取り組みや検討チームの編成などを通して具体化されていきます。厳しい社会環境の中で使命を果たし、地域と共に歩む神戸YMCAであるためにビジョンに沿った変革がスタートしようとしています。

おめでとうございます

神戸YMCAに縁ある方々が、財団法人兵庫県体育協会特別体育功労賞を受賞されました。

- 鎌方志郎さん(兵庫県セーリング連盟)神戸YMCA名誉会員
奥村孝さん(兵庫県なぎなた協会)神戸YMCA維持会員・顧問弁護士
山口徹さん(兵庫県バスケットボール協会)神戸YMCA名誉主事・前総主事

第2回 ユース B G イベント ハイキングと野外料理



神戸YMCA学生ボランティアリーダーのOBOGが集い、新神戸~市ヶ原でハイキングと野外料理を行いました(11/20)。「若い力がひかり輝くために、ユース世代のリーダーOBOGの帰る場所作り」をスローガンにユース委員会を母体に企画されました。2回目となった今回は、余島、三宮、須磨、西神戸、西宮、沼島という多彩なOBOG10名と家族に委員・職員を合わせて14名が参加しました。前日まで危ぶまれた天候が嘘のように、空は晴れ上がり絶好の野外活動日和! 集合時(新神戸駅)の緊張感も、出発すれば現役に戻って笑顔があふれ、参加最年少者(3歳)も元気いっぱい、往復をほぼ一人で歩き切りました。カレーやシチューを、かまど作りから出来上がりまで1時間という手際の良さは圧巻! お互いのスキルに驚き、思い出話や裏話で盛り上がり、初顔合わせもあっという間に旧知の仲。本当に楽しい時間を持つことができました。OBOG代表3名の、企画から参加呼びかけまで多くのお手伝いで開催することができました。継続して企画する予定です。OBOGの皆さん、ぜひご参加くださいね。



YMCAセミナー開催

2010年度YMCAセミナー(ミッション委員会主催)が11月27日(土) 賀川記念館天国屋カフェとイエス団の協力を得て開催されました。テーマは「みんなでホッとしませんか?」。赤井朱美さん(神戸親和女子大学准教授)の基調講演を受け、世の中で「痛み」を抱えている方たちの痛みを共有する「サファリングボディ」というワークを行いました。模造紙の上に寝転び、痛みを抱える人を表現するところから始まりました。上内鏡子さん(神戸イエス団教会牧師)の導きで、肉体的、精神的、社会的な側面から「痛み」を捉え、それぞれの気持ちや考え方がつながるようになりました。痛みを感じるだけでなく、なぜ? どうして? という疑問を大切にしながら、痛みを抱える人に、私たちは何ができるだろうかと思いをめぐらすセミナーとなりました。「みんなでホッとする」テーマの中で、隣人の痛みを感じる感性を自分の中に確かめることもできたのではないのでしょうか。天国屋カフェの美味しいケーキとコーヒーで、心も体も「ホッ」とすることができました。



お詫び

去る11月3日に行われました第13回神戸YMCAチャリティーランへ多数のご参加とご協賛を賜りありがとうございました。当日参加者にお配りしたパンフレットに、ご協賛いただいた企業、団体、個人のお名前が漏れていたことにつきまして謹んで深くお詫び申し上げます。

感謝

【神戸YMCA創立125周年協賛金】

(10/5~12/3確認分)

- 松田健之介、塚本哲夫、山根 泉、大石恵理子、大林富雄、井上喜弘、川島香里、新野幸次郎、井出 浩、井出 富光子、宝塚ワイズメンズクラブ、神戸西ワイズメンズクラブ、小野昌一・里佳、平野寛子、森垣 驥、森垣眞理子、大平悦子、高齢者総合福祉施設オリンピア兵庫、大石晋市、村田明男、柿沼恵子、青柳美知子、株式会社シミステック、京極美栄子、山本洋子、中川勝巳、神戸YMCA少年部リーダーOBOG会、草地とし子、藤原百合子、藤原明司郎、進藤啓介、今小路憲人、宮出眞理、熊谷親啓、野口善國、坂本孝司、廣瀬充子、芦屋ワイズメンズクラブ、井上真二、濱瀬真知子、山口 徹、桑野友子、万本敬一、神戸Yワイプス会、曾和保雄、三嶋慶子、青木麻実、ネクストビジョン委員会有志、前田 隆、山本大輔、西田 勉、田中雅代、須磨センター社交ダンスクラブ、秀平悠磨、宮田泰子、河合睦文・純子、佃 治子、藤井久子、香川弘光・幸子、神戸ワイズメンズクラブ (敬称略、順不同)

【寄付金】

- 武田寿子、清水泰人、江原伯陽、ギデオン協会、金 徳化、本城智子、本城和夫、伊地知圭子(敬称略、順不同)

第13回 神戸YMCAチャリティーラン ご協賛 (敬称略、順不同)

Table listing sponsors of the charity run, including various companies and individuals like 三菱商事株式会社, キャセイバシフィック航空会社, etc.

余島 創立60周年記念礼拝

1950年に余島でキャンパスがスタートしてから60年を記念した礼拝をもつことができた(11/13)。日本基督教団神戸教会に約200名が集まり、60年前に余島を見つけた今井鎮雄氏(神戸YMCA顧問)に「種を蒔く人」と題したメッセージを頂きました。余島は人が出会い、育つ場であり、次の指導者を育てていく場であり、それが連続と営まれる中で多くの人に関わり続けてきたことを改めて確認する一時となりました。礼拝の後、大森健蔵様、中山豊美様、サントリーホールディングス(株)様に、これまでのお支えに感謝状を贈呈しました。60年の歩みを支えてくださったすべての方に感謝をしつつ、これからの歩みを強めていきたいと思えます。



あふれる子どもたちの笑い声 学童保育の現場から

(須磨YMCA)

1975年、須磨YMCA(当時は高倉台プラランチ)に学童保育プログラムが出来ました。仕事を待つお母さんたちが協力し、併設する神戸YMCAちとせ幼稚園の園庭に廃車になった園児送迎バスを置いて改造、活動拠点にしました。当初数名しかいなかったメンバーは、今では60名以上の大所帯になりました。



クリスマス会の練習

学童の子どもたちの一大イベントは「学童クリスマス会」です。ただし普通のクリスマス会とは少し趣向が違います。「いつも僕たち私たちの世話をしながら一生懸命お仕事を頑張っている家族のみんなに何かプレゼントをしよう!」「頑張っている姿を見せることが、なによりのプレゼントだね!」「発表をして見てもらおう!」ということ、約10年前から子どもたちの「1年間の集大成」として行っています。自分の得意なことや挑戦したい事を決め、数ヶ月前から練習を重ねて発表します。目標が大きすぎて「出来ない」と壁にぶつかったり、一緒にしているお友だちと、進め方でぶつかり合ったり、取り組みの「温度差」でけんかをしたりと、様々なドラマやハプニングがあります。でも目標に向かって、気持ちを分かり合い、折り合いをつけ、支え合って当日を迎えます。

「ドキドキする。出来るかな? 失敗せえへんかな?」と当日は緊張感でいっぱいですが、達成感や子どもの自信になります。でも、リーダーが子どもたちをしっかり把握してないとクリスマス会に行き着くことは出来ません。1人1人を大切に、丁寧に関わって行くことの大切さを痛感する時期です。そして、目に見えない「心の部分」を話し合う機会がとて多いい時期でもあります。クリスマス会を乗り越えた3学期は、穏やかで子どもたちが自分たちで気持ちよく遊べるご褒美が待っています。アナログ感が一杯の須磨YMCAの学童保育には、子どもたちの笑い声があふれています。

地域と共に

神戸市立太山寺児童館

地下鉄学園都市駅から徒歩3分、YMCA保育園の前にある「太山寺児童館」は、神戸YMCAが2006年4月から神戸市の委託を受けて運営している児童館です。

太山寺児童館のある学園都市地域は乳幼児の数が多く、朝は親子のブレイククラブ、午後は学童保育が活動の中心です。直ぐ近くの西神戸YMCAも学童保育を行っています。3年生の子どもたちが毎日学校から帰ってきます。地域と共



ます。地域の子どもを育てる児童館、ぜひ一度遊びに来てください。
http://www.yonet.ne.jp/~taisani-jidokan/index.htmで詳細を紹介しています。

西神戸Y幼稚園バザー

11月20日(土)に西神戸YMCA幼稚園・YMCA西城南センターの第12回YMCAバザーが実施されました。園児保護者による店舗を中心に、卒園児と保護者、西神戸YMCAのリーダー、学園都市ワイズメンズクラブ、国際ボランティア、リーダーなどたくさんの方に支えられました。暖かな天候に恵まれて来場者は1,500人以上でした。益金は国際協力募金、神戸YMCA125周年記念協賛金、園児活動補助などに使われる予定です。



シリーズ「くさくさいのまど」

神戸YMCAは、国際協力募金運動のプロジェクトとして、タイ・チェンマイYMCAとの協力のもと、1984年よりタイ北部農村でのワークキャンプを実施しています。これまでに日本から約400名のキャンパーがタイへ渡り、職業訓練所、保育所、水道供給設備、植林、橋、図書館等を建設してきました。村ではタイの青年とともに農村にホームステイし、寝食をともにしつつ人と人との出会い、交流を最も重要な基盤として互いの歴史や文化に触れ、学び合い、ともに働きます。2003年度からはアメリカ・シアトルYMCAとラオスの青年が参加するようになり、国際キャンプとしての広がりもできました。昨年3月は10名の日本人キャンパーがタイ北部・ミャンマー国境のメーホンソン県の村で、広汎性発達障がい児のためのトイレつき学習室を建設しました。慣れない環境での生活でしたが、それぞれが豊かな経験をえました。帰国後、キャンパーたちはその貴重な経験を多くの人たちに、とりわけ子どもたちに伝えたいと願って活動を行なっています。神戸YMCAでの報告会はもちろんのこと、サマースクールでの国際プログラムの企画運営、また、兵庫県内の中学校や小学校でもワークキャンプの経験を通して、「平和ってなに?」「平和のために私たちにできることってなに?」と子どもたちと一緒に考えます。訪問先には、昨冬に被災地児童招待キャンプで一緒に過ごした佐用町の小学校もあります。成長した子どもたちと再会を喜び、ともに悩みながら、また、気づかされながら大切なことを学び続けています。現在、第28回タイワークキャンプの参加者募集を行なっています。また新たなキャンパーがタイ北部農村の村を訪問し、新しい仲間とともにさまざまな気づきが得られるように願っています。



佐用町の小学校



豊中市の中学校

このタイワークキャンプは、神戸YMCA国際協力募金及び「ワイズメンズクラブ」国際協会西日本区六甲部各クラブの支援によって実施されています。

【第28回タイワークキャンプ】

日程：2011年3月11日(金)

対 象：テーマに関心を持ち、ワーク可能な18才以上の方

問合せ先：神戸YMCA国際・奉仕センター

078・241・7204

ウエルネスセンター三宮	078(241)7202
YMCAホームヘルパーの事務所	078(241)7237
ランゲージセンター	078(241)7204
専門学校	078(241)7203
西宮YMCA	0798(35)5987
三田センター	079(559)0075
余島野外活動センター	0879(62)2241
国際・奉仕センター	078(241)7204

KOBE
YMCA
GOAL 2011
Information

ウエルネスセンター学園都市	078(793)7401
西神戸YMCA	078(793)7402
西神南センター	078(993)1560
須磨YMCA	078(734)0183
YMCA保育園	078(794)3901
西宮YMCA保育園	0798(35)5992
西神戸YMCA保育園	078(792)1011
YMCAちとせ幼稚園	078(732)3542
西神戸YMCA幼稚園	078(997)7705



幼児の部 最優秀賞

クリスマスカードコンテスト



点の応募作品が集まり、どれも個性あふれるすてきな作品ばかりでした。
2010年12月13日(月)～25日(土)の期間、神戸YMCAウエルネス三宮1階にて
掲示されました。次のみなさんが入賞されました。

最優秀賞 幼児の部) 山口 陽名利

小学生の部) 庄司 優香

優秀賞 幼児の部) 中出 凜 滝照 董

小学生の部) 酒井 順一郎 田中 英翔

YMCA賞 松永 俊亮

メネット賞 木下 星名

ワイズメンズクラブ賞 熊淵 貴大



小学生の部 最優秀賞



Photo Topics



10/11(月・祝) 余島 秋のファミリーデイ
毎年恒例の余島無料開放(小豆島の家族が対象)。大人24名、小人41名が来島、気持ちの良い秋風の余島で至福のひと時を過ごしました。



11/23(火) ヘルシーキッズ&ファミリーデイ
0歳からおばあちゃんまで100名以上が参加し、森林植物園で『紅葉のアートウォークラリー』を行いました。紅葉の森を楽しく散策し、拾った落ち葉で貼り絵を作りました。各ファミリー個性的な作品ができました。



11/7(日) 青成ハイキング
神鉄花山駅から双子山、摩耶山、阪急六甲駅まで、登山中級者向けのコースを歩きました。少し厳しいコースでしたが、秋の澄んだ空気の中、美しい景色を楽しみました。



11/14(日) 三宮YMCA体操交流会
ジмнаスティックス初中級・中上級参加者が日頃の練習の成果を発表しました。練習とは違った緊張感の中、てつぼう、とび箱、マットを披露しました。綱ひきやゲーム大会もみんな元気に楽しみました。



11/27(土)~28(日) バレーボールクラブ全国大会出場
第28回全国スポーツ祭典ミックスバレーボール大会(神奈川県小田原アリーナ)に、神戸YMCAバレーボールクラブが2年連続14名で出場しました。32チーム中ベスト8の成績を収めました。



個人消息

【ご出産】おめでとうございます。

10/2 足立 実希さん(西宮YMCA保育園) ご長男 蒼典くん
10/6 中塩屋 あゆみさん(西神戸YMCA保育園)

ご長男 太樹(たいき)くん

【ご逝去】謹んでお悔やみ申し上げます。

10/12 太田 直樹さん(社会福祉法人光朔会) ご尊父様

11/3 故 伊地知 睦夫 様(神戸YMCA名誉会員、西宮ワイズメンご令息様)

11/17 藤田 良祐さん(CSC県立文化体育館)ご祖母様

12/3 村松 佳美さん(西神戸YMCA幼稚園)ご尊父様

【退職】おつかれさまでした。

10/31 森谷 太さん(三宮ランチ職員)